

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 原口 和夫 (算 一 義)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	---------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	約 8.7 億円 (うち用地補償費 2 億円)
		(主)養父朝来線 緊急地方道路整備事業 Aタイプ	養父町建屋 1.4 2 k m		

所 在 地		着工予定年度	完成予定年度
養父郡養父町建屋		H 1 3 年度	H 1 6 年度

事業目的	事業内容等
<p>人家連担部における未改良区間の整備を行い、沿線地域から播但連絡道路朝来 I.C. 及び今後整備が予定されている北近畿豊岡自動車道養父 I.C. へのアクセス性の向上を図るとともに、通学路における安全確保を図る等生活の利便・安全性の向上を図る。</p>	<p>道路改築(バイパス) L = 1,4 2 0 m W = 6.0 (9.0); 2 車線 交通量(台/日): 計画 2,010 現況 1,900</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心を確保する	<ul style="list-style-type: none"> 本路線は緊急輸送路に指定されているが、建屋地区は、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難なため、早期整備を行い防災面の強化を図る。 通学路に指定されているが、人家連担部で幅員狭小なため、バイパス整備を行い通学児童の安全を確保する。 また、養父朝来線沿線から養父中学校まで通学する自転車通学生の安全も合わせて確保する。
開かれた兵庫を築く その他	<ul style="list-style-type: none"> 播但連絡道路朝来 I.C. 及び今後整備予定の北近畿豊岡自動車道養父 I.C. など交通拠点へのアクセス性の向上を図る。 「建屋地域活性化対策委員会」、「県道養父朝来線建屋バイパス推進協議会」から早期整備の要望有り。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 通過交通が排除されることにより、地域の生活環境が改善されるとともに、歩行者の安全性の確保が図れる。
代替性	<ul style="list-style-type: none"> 現道拡幅では 6 0 戸の家屋移転が必要で、莫大な事業費となることから、事業目的を達成するためには当該道路をバイパス整備する以外に代替となる整備手法は無い。
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> 用地取得の面で、地元の協力体制が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 建屋川には国の天然記念物である「オオサンショウウオ」が生息しているが、バイパスが建屋川を横断する箇所については、橋梁及びその取り合い護岸等について、「オオサンショウウオ」の保全に十分配慮を行う。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 新道路整備 5 ヶ年計画に今 5 ヶ年以内での事業着手として位置づけられており、緊急輸送道路の確保、交通の安全性の確保のため早期整備が必要である。

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------